

ほんじがはら

平成28年度 No.9

平成29年2月15日

尾張旭市立本地原小学校
尾張旭市南新町中畑252番地
TEL:0561-53-2702

世界一、元気と笑顔いっぱいの本地原小学校

校長 水野博文

寒い日が続いています。今が一年で一番寒い時期かもしれません。一番寒いという事は、これから暖かくなるということです。「冬来たりなば、春遠からじ」です（この言葉、漢詩かと思ったら、イギリスの詩人シェリーの詩を訳したものだそうです）。保護者の皆様には日頃より本校の教育にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先日の集会で、子どもたちに、2017年の学校の目標として「世界一、元気と笑顔いっぱいの本地原小学校」にしようという話をしました。多くの本地っ子が、どんなに寒くても外で元気よく遊んでいる姿を見ると、「世界一、元気」だと思ふことがよくあります。「笑顔」についても、勉強している時、運動している時、友達と遊んだりおしゃべりしたりしている時、すてきな笑顔をよく見ます。

しかし、いつも「笑顔」というわけにはなかなかいきません。いやなことがあって、腹を立てたり、悲しかったりすることもあります。自分のむしゃくしゃした気持ちを人にぶついたり、他の人と争ったりすることもあるでしょう。人はそれぞれ感じ方や考え方が違います。悪気がなくても人を傷つけてしまうことがあります。また、悪いと思っけていても自分を抑えきれず人を傷つけたりしてしまふこともあります。みんなが笑顔で過ごすためには、「がまんすること」「相手の気持ちをわかってあげること」「許してあげること」が必要です。実際、そうしている子どもも多くいます。「よくがまんしたね」「よくわかってあげたね」「よくゆるしてあげたね」とほめてあげたいです。

子どもたちの笑顔がもっともって増えていくことを願っています。

なわ跳び大会

1月24日（火）晴天のもと、なわ跳び大会を行いました。短なわ跳びやクラス全員による大なわ跳びに挑戦しました。体育の授業やトライアルタイム、放課を通して練習した成果を思う存分発揮することができました。



スクールカウンセラー巡回相談

スクールカウンセラー上田千鶴先生は、2月17日（金）及び3月10日（金）の10:00～16:00に在校しています。ご希望の方は、担任またはコーディネーターの田中までご連絡ください。

“本地原小学校区のいいところ”

「五代目 HAPPY BOX」で、本地原小学校区のいいとこさがし運動を行い、その結果を『本地原公民館』と『新池交流館ふらっと』に掲示させていただいたところ、その掲示を読まれたたくさんの方々から“本地原小学校区のいいところ”を伝えていただくことができました。以下にその一部を紹介します。

- みんなこの学区のいいところを見つけるのが上手だなと思いました。こういう子どもたちがふえていけばいいなと思います。
- 街の中の田舎、田舎の中の街を感じます。両者のよいところを一杯持っているイイトコロです！
- 町ぐるみで子どもたちを見てくれること。
- 地域のお店の方々が子どもの手伝いや、けがをした時に手を貸してくれること。
- みんな笑顔で親切なところ。
- いつも笑顔でいる。東公園がある。日立のおまつりがある。
- ふらっとは、子どもたちの遊び場と、大人もいろいろなことができるからうれしい。
- 本地原小は男女なかがいい。
- みんなが元気にあいさつができるところ。
- 運動場でたくさんの子が元気に遊んでいる。
- 校内にいろいろな掲示がされていて、とてもよい。
- 元気にあいさつができるところがいい。あいさつができる子が多い。
- みんなともだち！ なかよしのところ。みんながやさしいところ。約束を破らない。
- いつもしゃべってくれてうれしい。
- 1年生に優しい6年生。1年生がかわいすぎる場所。

ここに書かれていることから、本地っ子は、地域の方々に見守られ、地域の方々に愛されていることがよく分かります。本地っ子の皆さんは幸せです。

保護者の皆さん、地域の皆さん、これからも本地っ子のことをよろしく願いいたします。

外部講師の先生に 教えていただきました

2・4年赤ちゃん訪問



赤ちゃんとおふれ合ったり、母の想いを聞いたりすることにより、誰もが愛されていることを知り、自己肯定感を感じることができました。

3年 棒の手体験

尾張旭に伝わる棒の手。本地ヶ原地区は無二流です。演技を見せていただいた後、実際に棒を持って体験しました。



5年 認知症サポーター 養成講座



認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族の気持ちを理解し、支え合っていくことの大切さを学ぶよい機会となりました。